

模擬G7サミット2017を終えて

渋谷教育学園渋谷高等学校2年 三浦恭佳

8月3日、渋谷教育学園渋谷中学高等学校に、地球社会が抱える問題解決に関して高い意識を持つ高校生30名が集まり、「ジェンダー平等」について考えました。参加校は、桜蔭高等学校、お茶の水女子大学附属高等学校、かえつ有明高等学校、頌栄女子学院高等学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、渋谷教育学園幕張中学高等学校、洗足学園高等学校、立命館高等学校、雙葉学園高等学校、広尾学園高等学校、本郷高等学校の11校でした。今回の企画、運営は渋谷教育学園渋谷高等学校2年鈴木玄、三浦恭佳、山中はるが行いました。

まず、5人～7人のグループを5つ作り、その中で自己紹介をしてもらいました。次に、2015年にベルリンで開催されたJ7ユースサミットに日本代表として参加したお二人にプレゼンテーションをしていただきました。質疑応答も活発に行われ、最後は皆に元気が出るアドバイスもいただけて、とても有意義な時間となりました。その後、私たち運営の3人が、事前に用意していたパワーポイントを使いながら「男女平等」とはそもそも何であるのか、その国内及び国際社会における現状と問題点についてのプレゼンテーションを行いました。こちらも熱心に聞いていただけて嬉しかったです。

次はグループ内でのディスカッションです。話し合いがより活発なものになるように、また多方面から考えられた発表をしてもらうために、様々な質問や問いかけを資料に組み込みました。このディスカッションを通して、日本におけるジェンダー平等の実現の難しさをより意識してもらった後、いよいよ「日本国内で男女平等を実現するためにできること」について各グループでアイデアを出し合い、政策を打ち出してもらいました。

最後は、各自の政策をポスターに英語でまとめてもらい、英語で発表していただきました。一般的に日本人は男女の役割の違いを幼い頃からメディアによって植え付けられている現状があるとして、メディアが変わっていく必要性について言及するグループが多くいました。その他、無意識のうちに「男女」という意識を与えてしまっている学校の制服の廃止を求めるグループもありました。

終了後、「独創性のあるアイデアを提案するまでのプロセスを通して、ジェンダーについてさらに関心を持つようになった。」「来年度、また参加したい。その時はプレゼンの練習や分かりやすいポスターの作り方を勉強してから行きます。」などの感想をいただき、とても嬉しかったです。参加していただいた方のジェンダー平等に対する意識が少しでも高まったのなら、イベントを開催した意味がありました。本当にありがとうございました。

模擬G7サミット2018は8月2日(木)に開催する予定です。企画、運営から参加したいという方はHPDUの北原先生に連絡してみてください。

